

推進方針



1 ビジョンの推進方針

(1) 基本的な考え方

長期ビジョンを実現していくには、県民一人ひとりが「ふくいの将来像」を共有し、力を合わせて行動していくことが何より重要です。策定過程においては、県民参加を最も重視し、市町別・世代別・分野別など様々な形で意見交換会やワークショップなどを実施してきました。

ビジョン策定後も、学校や企業などにおいて、県民自らが将来像を実現するための活動を考える出前講座やワークショップなどを開催し、県民の新たなアクションを生み出し、福井の可能性を広げていきます。

さらに、県民・企業・団体・市町など様々な主体が連携して力を発揮するため、それぞれの個性や特長に応じた役割を担いながら「チームふくい」でビジョンを実現していきます。

(2) ビジョン推進の視点

〔県民主役の県政〕

県民の幸福実感につながる施策を実行していくため、積極的に現場に出向き、県民の声を聴く「徹底現場主義」を重視します。

職員の行動規範（クレド）に基づき、スピード感を持って「現場を見て、理解し、行動する」というサイクル（OODAループ）を回しながら、県民主役の県政を進めていきます。

〔市町との協働〕

県と市町は、共通の県土を基盤とする地方自治体として、それぞれの役割を担いながら行政サービスを提供しています。

人口減少や長寿命化、大交流化、技術革新などの環境変化に対応していくため、今後さらに市町とのコミュニケーションを進め、連携して地域の課題に対応していきます。

〔SDGsの推進〕

ビジョンに掲げる将来像の実現には、SDGsの理念「誰一人取り残さない。持続可能で多様性と包摂性のある社会」に沿って政策を進めていくことが非常に重要となります。

すべての県民が主役となって自分らしく輝くことができる「共生社会」を目指し、長期ビジョンをはじめとする県の計画や予算などにSDGsを位置付け、積極的に推進していきます。

(3) ビジョン実現のための政策実行

2040年の将来像を示す「将来構想」、5年間の「実行プラン」に基づき、毎年度の施策を企画・実行します。施策については、社会環境や経済情勢の変化に合わせ、柔軟に追加や見直しを行います。

また、ビジョンの進捗については、各分野の有識者等で構成する「長期ビジョン推進懇話会」において、実行プランに盛り込んだ各施策の実施状況の検証、成果に基づく施策の充実を行い、実効性を高めながら政策を実行していきます。